



10月 ようじぐみだより

2025. 10. 1

今月はうんどうあそびの日があります。さくらさんにとっては初めてのうんどうあそびの日です。ドキドキするお友だちもいると思いますが、お相手さんやお友だちと一緒に参加することで、安心してあそびを楽しんで欲しいと思います。ばらさんは、ゆりさんの姿を見てお友だち同士協力し、ゆりさんと共にあそびをリードして欲しいと思います。そしてゆりさんは最後のうんどうあそびの日になります。ひとつひとつの行事が最後になりますが、「がんばってよかった！」と思える一日になるように、本番だけではなく練習の時から一番大きいゆりさんとして頑張り続けてもらいます！

ゆいぐみ 「まほうのくすいをつくらう」

うんどうあそびの日にお家の方にどんな姿を見てもらいたいのか、どんなことを頑張りたいのか、みんなで話しました。話し始めてすぐに「大縄でかっこいいところをみてほしい」と、意見は全員一致。これまで先輩のゆりさんの縄跳びする姿にあこがれて、さくらさんの時に大縄のへびさんに挑戦したのをきっかけに、大波小波や郵便屋さんをして楽しんでできました。みんなすぐに跳べるようになったわけではなく、引っかかって諦めずに跳び続けることでコツをつかみ始めたり、なかなかうまく跳べないお友だちも、跳べるようになったお友だちと一緒に跳んでリズムを伝えてくれたり、腕が疲れても縄を回して協力してくれたことで、励まされ、ここまで頑張ることが出来ました。そんなみんなの「がんばる力」が魔女さんのお薬には欠かせないようです。いつでも見守ってくれている魔女さんに替わってのお薬作り、まずはみんなで協力して大きなお鍋作りから、自分本意ではなく相手をおもいやり、人に合わせる事がお鍋作りでは肝心です。おとまり保育でもらった魔女さんのシールと、魔法の粉を使ったプレスレットをお守りにしてがんばります！

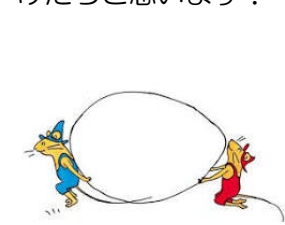


ゆりさんにしかできないうんどうあそびを見てもらいたいとおもいます。

どうぶつグループ 「ほくらはなかよし ぐりとぐら」

どうぶつグループの子どもたちは『ぐりとぐら』になりきってお話の世界を楽しんでいます。ホールを使ってお散歩遊びを楽しんでいると「おおきいたまごがあったらいいのになぁ…」という声が聞こえてきました。そこで夏の遊びの中で絵の具を使い、大きなたまご作りを楽しみました！すると「カステラ作りには小麦粉と…お砂糖と…牛乳と…」次々に想像が膨らみ、遊びが広がっていく様子に保育者も子どもたちと一緒にワクワクしながら過ごしてきました。うんどうあそびの日には様々なお散歩道をお相手さんと一緒に楽しみながらみんなでおいしいカステラを作りたいと思っています♪

フープを使ったケンパ（グーパー）道も、よく見てみるとゆりさんの道はフープが少し離れていて難しそう…リズムよくしっかりと足を揃えて飛び越えられるかな？ばらさんは高さのある積み木を両足で力強く飛び越えますよ！さくらさんはドキドキする気持ちの中でもお相手さんと一緒にグーパーと両足跳びに意識して跳んでいます。「ほくらのなまえはぐりとぐら～♪」うんどうあそびの日は可愛い歌声とともに、子どもたちが考えた様々なお散歩道を元気いっぱいに楽しみたいと思っています。さくらさん、ばらさん、ゆりさんそれぞれの跳び方やリズム感、全身の動きの違いなども見て頂けたらと思います。同じ遊びを楽しむ中でもゆりさんがお手本になり、1つ1つの動きを丁寧に、リードしながらみんなで楽しみたいと思っていますので楽しみにして頂けたらと思います！



こといグループ 「じっちょいんのあるくみち」

いよいよ公園のグラウンドでの練習が始まりました。ホールであそんでいた時とは違い、広くて明るいグラウンド。みんなで考えたじっちょりんごっこのあそびでしたが、いざ練習が始まるとドキドキしている様子が伺えました。とくにばらさんは、自分たちのセリフの時にはカチコチになって答えることが出来ず…。さくらさんの応援や、ゆりさんのお手本に助けられ、少しずつ声が出だしました。また、ゆりさんも自信が無いときは突然声が聞こえなくなり歌うことをやめてしまい、本当のじっちょりんの様にすっかり姿を消してしまったかのようでした。そんな時、グラウンドで一際楽しく自由にあそびまわるさくらさん。自分の出番のジャンプも、早く跳びたくって我慢できません。そんなさくらさんの可愛らしい姿に「みんなもさくらさんのときはこうだったよね」「そんなとき、ゆりさんばらさんがあそびのお手本をしてくれたから、おうちの人が見てくれる本番でも、安心して楽しくあそべたんだよね」「つぎはばらさんゆりさんが、お手本になる番だね」とお話すると、「〇〇がんばるわ」「もっとおおきいこえだすわ！」と頼もしい声を聞かせてくれました。グラウンドでの練習を繰り返すことで環境に慣れ、あそびの中での動きも覚えて、自信を持ってあそびに参加してくれることと思います。

グループのあそびの中では、同じジャンプのあそびでも年齢によってあそび方が異なり、お相手さんと一緒にあそぶ場面では、それぞれの役割があるというところをポイントに見てもらえると、子どもたちの成長を感じることが出来ると思います。使う用具も子どもたちの意見を聞いて、みんなで一緒に作りました。あそびに出てくる草花は、この夏に園庭や園の周りで見つけたものです。子どもたちがどんな姿であそびに参加し、成長を見せてくれるのか、楽しみにして下さい。



さかなグループ 「忍者修行ヘレッツゴー！」

忍者修行のあそびを楽しんでいるさかなグループさん。4月からみんなが好きな「忍者つばめまる」の絵本を繰り返し楽しんでいたということもあり、「忍者みたいにかっこよく跳びたい」、「隠れみの術は壁を作って隠れよう」「変身の術はみんなでツバメになって空を飛んでいるみたいにしたらどう？」などとみんなで考えながらいろいろな動きを楽しんでいました。また、子どもたちの意見を聞くことを大切にしながら、一緒に考えて作って行けるように、「忍者が隠れる壁はどんな壁かな？」「何で作ろうかな？」と話をすると、ゆりさんを筆頭に「壁はねずみ色にしよう」「石みたいな壁がいいな」「折り紙とか画用紙で貼っていくのもいいよね」「絵の具で色を塗ってみる？」とたくさん意見を出してくれました。忍者が隠れる壁は、ばらさん、さくらさんも一緒に、画用紙や折り紙をちぎって貼ったり、ローラーを使って絵の具で色を塗り、大きな石垣の壁ができました。忍者のお面も「手裏剣つけない」「かっこよくしたい」「きらきらでかわいいのもいいよね」と子どもたちの声から素敵なお面を作ることができました。ホールではリズムあそびや用具を使ったあそびも楽しんでいます。「ケンケンパ」、「ジャンプ」、「ツバメのリズム」と同じ動きやあそびでも、バランスやリズムのとり方、体の動かし方など一人一人違いがあり、そんな子どもたちの姿にも注目して見ていただきたいと思います。また、うんどうあそびの日、当日は子どもたち一人一人が力を出し切り、みんなで自信を持って楽しんでいくことができたと思っていますので楽しみにしててくださいね♪

